

神戸市交通局
高速鉄道部長 繁田 和彦様

神戸交通労働組合
高速運輸部長 植田 豊



2024年度高速運輸部業務執行体制にかかわる勤務労働条件確保に関する申し入れ

職員定数並びに事業運営については、管理運営事項に含まれるが、職員の労働条件と密接に関係することから、下記のとおり申し入れる。

記

1. 欠員に伴う時間外労働が縮減できるよう駅掌（新規採用）の入局時期を2回に分けて実施すること。
2. 北神線担当乗務員のSHビル内の仮眠環境は、北神線、神鉄線の営業時間中は列車の騒音で眠れない状況におかれている。安全確保の観点から早急に改善を行うこと。
また、北神線担当乗務員の休暇予備は3週間5日間割り振られているが、西神山手線運転士の休暇予備が、11週間で7日間であることと比較すると、休暇予備の頻度が高い。
休暇予備は直前まで勤務が決まらない日も多く所用を行うには、必要以上に休暇を取得することになるので改善策を講じること。
3. 乗務員交番表（勤務表）の掲示、休暇受付開始日の遅れが目立つ。休暇受付開始日が長期間にもわたり乗務員に示されず職場が混乱をきたした。交番表の掲示時期や休暇受付の期日を守っていただきたい。
4. 当局が不適切な取り扱いを行った職員に対して厳しく指導を行うことは、資質の向上、安全確保には必要との認識ではいるが、一方で新線を乗務する運転士や異動で新たな職場で勤務する職員は、知識や経験が乏しくそれを補うための研修が不足しており補充研修の期間を見直すこと。
5. 令和5年度の人事評価において、最終評価者と被評価者の間で最終面談日の実施日に齟齬があると聞いている。責任をもって当局が調査すること。
6. KOB E2024 パラ陸上の開幕（5月17日）が1ヶ月を切ったが、未だ応援体制の有無が示されていない。

休暇の取り消しが必要な応援体制では無いとの認識での良いのか明らかにすること。

7. 4月の組織改編で安全対策係は無くなったが、一部業務については他の部署へ振替えると話を聞いた。

その業務の内容や引き継ぐ部署が未だに職員に示されておらず、職員からは緊急時の対応に不安があると聞いた。

早急に業務の引き継ぐ業務内容を明らかにし、関係部署への引き継ぐ行うこと。